

子どもいきいき しぜん体験隊！

事業主体 名称：特定非営利活動法人 赤磐子どもNPOセンター

住所：岡山県赤磐市町苅田324

事業実施場所 赤磐市大屋、加賀郡吉備中央町豊岡川、瀬戸内市牛窓海岸ほか

～事業を始めるにあたって～

昨今、小さな子どもでもスマホやゲームを使うことが多くなりました。しかし、画面の中の「疑似体験」だけでは、子どもの考える力や想像力を十分に伸ばすことはできません。五感で感じる体験なしでは、図鑑や映像で見ても表面的な情報でしかなく、においやふれた感触、歩いた感覚など経験しないと感じ取れないことがたくさんあります。

そこで、私たちは子どもたちが自然の中で思いっきり遊べる機会を増やしたいと考え、企画運営しました。同時に、保護者の皆さんにも、子どもたちの「やってみたい！」という気持ちを大切に、なるべく禁止事項を減らして見守り、安全に遊ぶための知識や身近な自然の楽しみ方を伝えていきたいと事業を行いました。

～事業実施内容～

【森あそび たぬきの森】

<第1回>

①**事業名** 自然の中でリスクマネジメント視察研修

②**参加人数** 4世帯（保護者6名、子ども3名）

③**日時** 令和6年11月30日（土）10:00～12:00

④**場所** 備前プレーパーク！森の冒険ひみつ基地

⑤**内容** 室内にて備前プレーパークの成り立ちと運営に関する15分間の映像を視聴しました。

その後、代表の北口氏から、プレーパークで大切にしている理念について学びました。

次に、山側と広場のフィールドに移動し、プレーワーカーの山口氏（やまぴー）と木村氏（きむちゃん）から、子どもたちとの関わり方やリスク管理について、質問形式で教えていただきました。

備前プレーパーク！森の冒険ひみつ基地
子どもと森のじかん

「毎日の生活で自然と触れ合える機会がなかなかありません。備前プレーパークは、自然の中で遊ぶことで、子どもたちの想像力や創造力を伸ばすことができます。また、自然の中で遊ぶことで、子どもたちの体力や精神力を鍛えることができます。ぜひ、子どもたちと一緒に自然の中で遊ぶ機会を大切にしてください。」

自然体験で広がる未来
森の中で見つける自分
森と一緒に

11月30日（土） 備前プレーパーク 森の冒険ひみつ基地 備前市大屋390-1	2025年1月12日（日） たぬきの森 秘密基地づくり 赤磐市大屋11-1	2025年2月23日（日） たぬきの森 遊び場づくり 赤磐市大屋11-1
開催時間 10:00～12:00	開催時間 10:00～14:00	開催時間 10:00～14:00
定員 30名 参加費 無料	定員 30名 参加費 1歳以上 900円 観覧 みんなで作る餅つき	定員 30名 参加費 3歳以上 500円 観覧 みんなで作るカレー

岡山県赤磐市大屋390-1
（特非）赤磐子どもNPOセンター
TEL 086-956-3700
〒719-2222 岡山県赤磐市町苅田324

申込フォーム





⑥活動の成果等

今回の参加者は、今後子どもたちと関わる活動をしたい方と、プレーパークで遊ぶのが初めてという方が中心でした。フィールドでは、プレーワーカーと子どもたちが遊ぶ様子を見ながら、危険な時の声かけ、禁止事項をできる限り少なくする工夫、子どもたちが自分の責任で自由に遊べる空間を作る工夫など、多岐にわたる質問に答えさせていただきました。

<第2回>

①事業名 みんなおいでよ！たぬきの森へ やってみよう！秘密基地づくり編

②参加人数 14世帯（保護者16人、子ども23人）

③日時 令和7年1月12日（日）10：00～14：00

④場所 赤磐市大屋 通称たぬきの森

⑤内容 秘密基地作りでは、参加者がグループに分かれ、山の自然を生かした様々な活動を行いました。具体的には、木の上にある既存の基地の修理、木と布を組み合わせた新たな基地づくり、柵で囲まれた基地づくりなど、各グループが協力しながら創造性を発揮しました。

また、備前プレーパーク！森の冒険秘密基地のプレーワーカーである山口氏（やまびー）と木村氏（きむちゃん）と一緒に遊びました。

秘密基地作りの他にも、以下の活動を行いました。

- 木の実を使った工作
- マシュマロ焼き
- 昼食のカレー作り





⑥ 活動の成果等

- 1) 現地にある木などを使い、創意工夫する経験ができました。
- 2) 自然とグループができ、子どもたちが主体的に活動に参加できました。

<第3回>

- ①事業名 みんなおいでよ！たぬきの森へ やってみよう！あそび場づくり編
- ②参加人数 17世帯（保護者17人、子ども21人）
- ③日時 令和7年2月23日（日）10：00～14：00
- ④場所 赤磐市大屋 通称たぬきの森
- ⑤内容 備前プレーパーク！森の冒険秘密基地のプレーワーカー、山口氏（やまぴー）と木村氏（きむちゃん）と一緒に遊びました。

活動内容は以下の通りです。

- ・遊び場作り：ターザンロープ、竹の滑り台、竹馬作り
- ・木の実を使った工作
- ・焼き芋作り
- ・昼食の豚汁作り



⑥活動の成果等

- 1) 子どもたちの「やりたい」を形にすることで、成功体験を実感しました。
- 2) 自然の物を使って想像力豊かに制作に取り組みました。

【遊びの発見の開催】

<第1回>

- ①事業名 トワイライトプレーパーク
- ②参加人数 祖父母世代4名、親子17世帯（保護者17名、子ども27名）中学生ボラ7名
- ③日時 令和6年7月19日（金）17:00～20:00
※17:00～18:00は中高生ボラ参加のカレーなどの準備
- ④場所 陽なたぼっこの庭（赤磐市町苅田324）
- ⑤内容 参加者は、以下のコーナーで自由に選び、思い思いに楽しんでいました。これらのコーナーはすべて同時に開催されました。

- ・的あて：好きな道具を選び、机の上に並べられた的を狙って遊びました。
- ・水鉄砲的あて
- ・ヨーヨーすくい
- ・輪投げ
- ・夕涼みウォーク：夕暮れの町内を15分ほどかけて歩き、夕刻ならではの自然観察を楽しみました。
- ・みずでっぼう対戦



⑥活動の成果等

初めて出会った子どもたちが、水鉄砲対戦を通して協力し合う姿が見られました。また、夕涼みウォー

クでは、地域の豊かな自然を観察し、参加者たちはその美しさに改めて気づかされました。全体を通して、親子間のふれあいが深まり、異年齢の子どもたちが交流することで、互いのコミュニケーション能力が育まれました。

さらに、赤磐市内4つの中学校から集まったボランティアの生徒たちは、イベント開始の1時間前から協力して準備に取り組みました。校区を超えた交流を通して、生徒たちはコミュニケーション能力を高め、互いの絆を深めました。

<第2回>

- ①事業名 川探険
- ②参加人数 祖父母世代3名、親子12世帯（保護者24名、子ども20名）
- ③日時 令和6年8月17日（土）10:00～14:00
- ④場所 小森オートキャンプ場付近豊岡川
- ⑤内容 浅瀬から深場まである川で、小さな子どもから中学生まで、みんなで川遊びを楽しみました。ペットボトルで筏を作る予定でしたが、子どもたちはそれよりも川に入って泳ぐことに夢中でした。小さな魚やカニを捕まえることもでき、自然との触れ合いを楽しみました。

- ・川遊び
- ・川の生き物探し
- ・ペットボトルいかだ作り
- ・スイカわり
- ・竹で炊いたご飯、焼き鳥、とうもろこし



⑥活動の成果等

- 1) 自然の水遊び体験を通し、様々なことを経験できました。
- 2) 食事づくり、すいか割りなど協力し合うことを体験できました。
- 3) 異年齢のコミュニケーションの取り方を学びました。

<第3回>

- ①事業名 海探険
- ②参加人数 親子11世帯（保護者15名、子ども16名）

③日 時 令和6年9月23日(月) 8:30~15:30

④場 所 牛窓海水浴場 / 瀬戸内市立美術館 研修室

⑤内 容 貸し切りバスで牛窓海岸へ行き、海の自然と環境について学びました。

午前中は、潮の満ち引きを観察したり、岩場に生息するイソギンチャクや貝などを探したりしました。また、砂浜のゴミ拾いを行い、海に流れ着いたゴミについて説明を受け、環境問題について深く考える機会となりました。

午後からは、海岸に流れ着いた漂着物を使ってフレームアートを制作しました。

講師:

環境学習: アスエコ 深見俊章氏 (ごろうさん)

フレームアート制作: 美術教師 土井比登美氏



⑥活動の成果等

- 1) 環境整備の重要性を学び体感しました。
- 2) 制作活動を通して、創作の楽しさを実感しました。
- 3) 海についての知識が深まりました。

～事業を終えて～

○事業実施による効果

私たちは一年を通して、子どもたちに様々な体験を提供することができました。参加した子どもたちは、山、川、海などの自然に触れ、森林の澄んだ空気、川の流れる音、海の潮風などを五感で感じました。これらの体験は、子どもたちの心に深く刻まれ、今後テレビや絵本などで自然が登場するたびに、鮮やかに思い出されることでしょう。そして、豊かな感性や思考力、想像力

を育む糧となるはずです。

また、私たちは子どもたちの自主性を尊重し、禁止事項をできる限り少なくしました。子どもたちは、自分たちの興味や好奇心に従って自由に遊び、様々な発見や学びを得ることができました。保護者の皆様にとっても、子どもの成長を温かく見守る貴重な機会となったことと思います。

○今後の課題・展開

今回の委託金を活用し、多彩な自然体験を企画することができました。今後も、親子で笑顔あふれる楽しい企画運営を継続していきます。かけがえのない子ども時代に、豊かな原体験をひとつでも多く提供できるように、地道に活動を続けていきます。

○まとめ

子どもたちは、スマホやゲームに夢中になりがちですが、自然の中へ行けば、今も昔も変わらず、好奇心や探求心を輝かせます。しかし、家族で自然体験に出かけることは、保護者の方々にとって時間的にも労力的にも負担が大きいのも事実です。

だからこそ、私たちは子どもたちがもっと気軽に自然の中で遊び、体験できる機会を提供したいと考えています。今後も、子どもたちの心を動かす、魅力的な自然体験企画を続けていきます。